

本資料はより良い申請書を作成いただくための参考資料として、実際の助成事業の例をもとに、当財団にて事業目的・事業目標・事業内容の記入例を作成したものです。この通りのご申請をいただいても、必ずしも採択されるわけではありません。当財団の助成事業に係る支援の柱や審査の視点は[助成金申請ガイド](#)をご参照ください。

事業目的

以下の2点について、社会的背景や解決したい課題を踏まえて 350文字以内で記入してください。

- (1) 本事業の実施によって団体が実現しようとする事
- (2) 本事業の実施によって期待される波及効果

<最終目的>

今まで海と関わりのなかった分野の人々を巻き込み、参加者層を拡大することで、子供を中心としたより多様な人々が海に関心を持つようにする。地域の海の課題に対し、アクションを起こす人々が増え、より多様な分野の人々が関わり、継続的に事業が運営されることを目的とする。

<中長期 ※3年後>

異業種との連携が進むことにより、より多様な人々や子供が地域の海の課題に関心を持つようになる。

事業目標

事業目的を達成するために以下の2点を明確にした上で、700文字以内で記入してください。

- (1) 1年後の事業完了時点の到達目標（何をどういう状態にするのか？例えば、受益者にもたらされる状態や期待される状態や当初からの変化など）
- (2) (1)の事業成果を測定する際の根拠（どのように確認するのか？数量目標がある場合、どのような方法で測定するのか？）

1. 異業種連携ワークショップ

- ・参加者同士による連携数 5つ以上

2. ●●体験会の実施

- ・海への関心度上昇 80%以上（参加者アンケートにて調査）
- ・参加者の満足度 80%以上（参加者アンケートにて調査）
- ・メディアによるイベントの記事化 3記事以上
- ・テレビ番組での放映 2局以上

3. ウェブページの作成

- ・PV数：40,000以上

事業内容

助成金を使って行う事業・活動の内容を700文字以内で記入してください。どこで、いつ、誰を対象に何を行うのかが明確にわかるよう、記入例をご参照のうえ、必要項目すべてについて記入して下さい。また具体的な数字も含めて記入して下さい。

1, 2, a, b など英数字は半角で、「.」「～」「:」「()」などの記号は全角でご記入ください。

※なお、前年度からの継続事業でご申請される場合は、前年度の助成契約書に記載の事業内容にならって記入してください。

1. 異業種連携ワークショップ
(1) 時期：2021年4月～2022年2月（計8回）
(2) 場所：東京都港区
(3) 参加者：80名（漁業関係者、研究者、飲食店関係者、スタートアップ企業経営者）
(4) 内容：意見交換

2. ●●体験会の実施
(1) 時期：2021年7月
(2) 場所：千葉県館山市
(3) 参加者：60名（小学校5-6年生の子供）
(4) 内容：潮干狩り、漁業体験、地域の海の課題についての説明等

3. ウェブページの作成
(1) 内容：地域の海の課題についての紹介、イベント情報など
(2) ターゲット層：親子向け
(3) 公開期間：2021年7月～

事業成果物

本事業で制作する予定の事業成果物（報告書、整備した物品の写真など）の名前、概要、および公開方法を255文字以内で記入してください。

1. 異業種連携ワークショップ報告（個人情報に配慮した上で当団体ウェブサイトに掲載）
2. イベントチラシ（A4版、500部）、開催報告および写真（個人情報に配慮した上で当団体ウェブサイトに掲載）
3. ウェブページ
4. 異業種連携によるオリジナル商品

※事業目的、事業目標、事業内容のご検討に当たっては、[助成金申請ガイド「3. 審査の視点」](#)をご参照ください。ご申請いただいた事業において、審査の6つの視点がどれだけ満たされているか総合的に判断し、審査を行います。

「申請準備ワークシート」もあわせてご活用ください。